

岩手山八合目避難小屋のご利用におけるお願い

新型コロナウイルスの影響が細部にわたり影響を受けており、登山界においても、営業小屋の業務縮小や閉鎖、あるいはアクセスの遮断等、登山者への入山を制限しております。一方、岩手山八合目避難小屋に関しては、避難小屋としての性格上、完全閉鎖はできません。今年度も夏山シーズン6月27日～10月11日まで、登山者の安全確保並びに小屋・トイレ及び水場等の管理のため、管理員が常駐いたします。

しかし、当避難小屋は個室がないため新型コロナウイルス感染予防を十分には行うことはできません。そのため、例年の運営とは異なる管理体制となっています。

現在、避難小屋で施行している感染予防対策を以下に示します。

- 1. 入室時にはマスク着用とアルコールジェル消毒を義務付けていますので、
マスクとアルコールジェルはご持参ください。**
- 2. 毛布の貸し出しはしておりません。
寝袋とマットをご持参ください。**
- 3. 利用者の就寝スペースと歩行スペースにはブルーシートを敷いています。**
- 4. 換気のため入り口、1階、3階窓を適宜開放しています。**
- 5. 登山客が小屋内に入る際には非接触型体温計で検温し37.5℃以上の方は入室を禁止しています。該当者には下山を促します。**

なお、トイレは例年通りに使用可能です。

避難小屋で新型コロナウイルス感染を拡大させないために、日帰り登山にご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染予防を考慮した登山の方法については、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会ホームページをご参照ください。

(https://www.jma-sangaku.or.jp/information/detail.php?res_id=1591866838-909647)